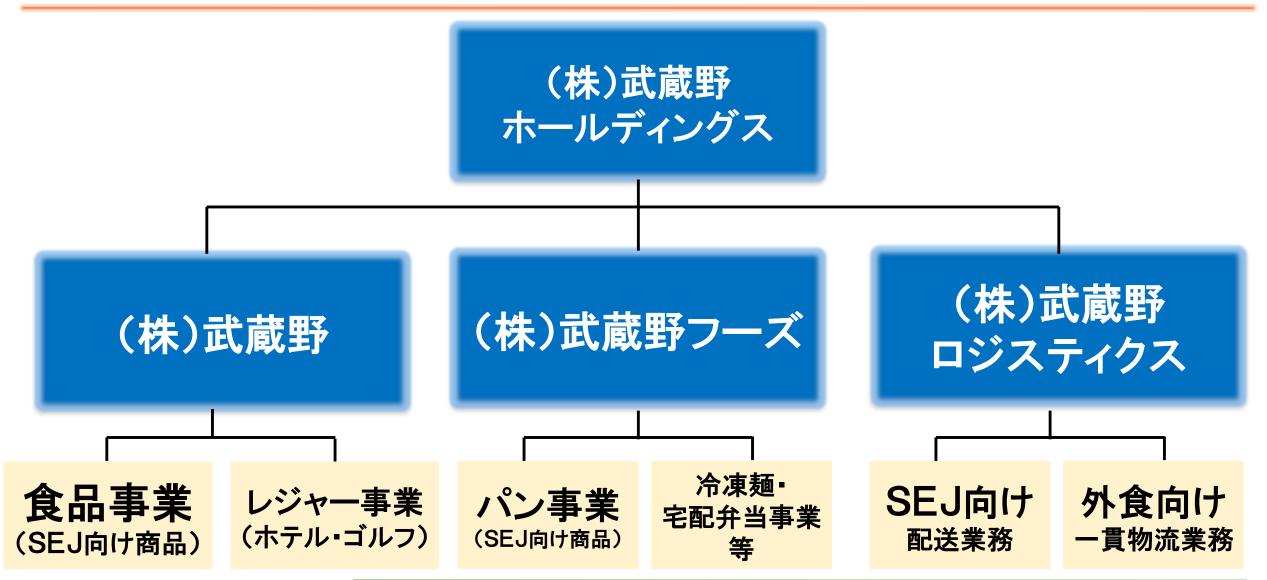


1. 武蔵野グループ 組織図





2. 武蔵野グループについて



(株)武蔵野 を中核に構成された 企業グループ で、「食」と「癒し」の分野で事業を展開しています

1967年

創業は1967年。現会長の安田定明 (2017年

旭日中綬章受章)が会社を立ち上げ、 パン粉の卸売業を開始。武蔵野は2017 年で 創業50周年を迎えました。 <u>14,000</u> 人

グループ従業員数は技能実習生を含めて 14,000人を越えています。お客様に商品 とサービスを通じて感動と喜びをお届けで きるように取り組んでいます。 **2,000 億**

グループ主要4社の合計 売上高は**約2000億円**(2018年3月期)。 **中食業界**のリーディングカンパニーと して更なる成長をめざしています。

6万トン

人類が神から授かった 地球上の二大穀物である 「米」と「麦」。年間使用量は「米」6万トン、「麦」6万トンです。 28工場

グループには関連会社を含めて**28工場**あります。

衛生管理された工場で、美味しさを追求して製造 しています。 <u>1,200</u> 室

2019年秋にUSJオフィシャルホテル「リーベルホテル アット ユニバーサル・スタジオ・ジャパンTM」がオープンすると客室数は **1200室超**になります。

3. 各拠点









シャキシャキレタスサンド

- 工場一覧
- ●武蔵野の工場 19工場
- 9工場 関連会社

●仙台工場

福島工場

●栃木第一工場 ●栃木第二工場

●サンワフーズ 大阪工場● 神名 ●福岡工場 カムス神戸工場● 東海エ ●福岡麺工場



カムス第1工場

カムス第2工場● ● 埼玉麺工場

ムサシノ食品 所沢工場●

●東京麺工場

【2019年 新設工場】

①京都第2工場 2019年4月

②沖縄工場 2019年7月





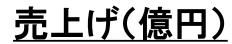
幕の内弁当398

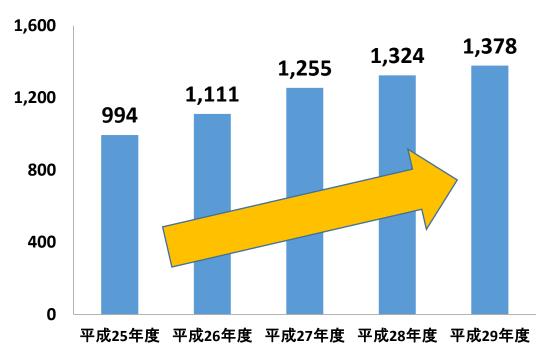


冷やしつけ麺

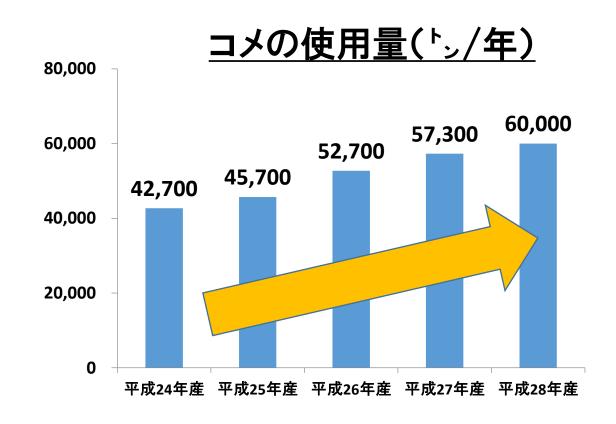
4. 武蔵野の売上とコメの使用量







おにぎり 180万食分/日お弁当 36万食分/日



吉野家3.0万~、スシロー2.5万~

5. 直接買い付けを始めた理由



- 従来の調達方法:共同仕入れ組合からの供給 ⇒米の素性がわからない
- 現在の調達方法:JA単協からの直接調達 なぜ始めたのか?→希望に合うお米がほしい(=おいしいお米)

6. ダイレクトコミュニケーション①



相互理解(信頼の醸成)

- JAへ多頻度訪問(過去3年で延700回)
- JAの施設視察 (カントリーエレベーター、ライスセンター、低温倉庫など安定品質の追及)
- 生産者集会での発表(武蔵野の取り組み)
- 弊社工場の見学 (JA役職員、非常勤理事、部会代表者、生産者など、延べ20JA、500名)

7

7. ダイレクトコミュニケーション②



双方の考え方の擦り合わせ

武蔵野	JA•生産者	解決策
安定調達	安定取引	契約栽培、複数年契約など
適正価格	再生産可能価格	固定価格、全農相対連動、上下5%など
安定品質		施設物(CE、RC、調整施設)、地区指定など
	コスト削減	慣行栽培へ切替(農薬・化学肥料の柔軟な選択)
	+ 収量UP +	知名度の低い短稈新品種の導入 (おいしいが条件、知名度は条件ではない)
	作業効率化	多収穫米による適期分散 (多収穫米でも適性のあるチルド弁当での使用を検討)

8. 進捗事例



カントリーエレベーター、1施設全量購入

- 生産者を特定することができる⇒前記のダイレクトコミュニケーションに繋がる
- 従来:生産者は農薬・化学肥料(指定製品)を抑える生産に取り組んできた
- 今後:収量を維持・増加することができる

汎用的なコストの農薬・化学肥料を選択 ⇒コスト減+生産増を期待することができる

● 同地域のみの精算ができないか、研究中

9. 新潟県産コシヒカリの販売商品と販売地域



令和元年産より

『新潟県産コシヒカリ』 とおにぎりに明記して 販売開始

次のステップとして 山形県産つや姫を予定

■商品の一例







販売期間:令和元年11月~



10. 需要に応じた生産とは



需要に応じた生産ーダイレクトコミュニケーション

「人を介さずに、生産者と直接話をすることが大切である」